

科目名		臨床作業療法演習Ⅰ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科3年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
臨床実習に必要な技能の習得を目的とする。観察した内容を記録（SOAP）として残すだけでなく、根拠にもとづいたAssessmentとPlanの作成。また、他者に自身の考えを分かりやすく伝えるレジメ作りを習得し、活発な意見交換が行えるようになることを目的とする。									
〔授業全体の内容の概要〕									
講義にて、一般的な作業療法の記録法・症例報告書の書き方を学び、事例を通して記録・まとめ・発表・質疑応答の演習を進める。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
臨床作業療法に必要な記録・症例報告（レジメ作成から発表まで）ができるようになることを目標とする。									
回数	講義内容								
1	オリエンテーション（授業概要、到達目標など）								
2	臨床作業療法1 観察から記録								
3	臨床作業療法2 記録を基にした考察								
4	臨床作業療法3 医学的考察（文献等を用いた方法）								
5	臨床作業療法4 実践①								
6	臨床作業療法5 実践②								
7	臨床作業療法6 ケーススタディ①								
8	臨床作業療法7 ケーススタディ①解説								
9	臨床作業療法8 ケーススタディ②								
10	臨床作業療法9 ケーススタディ②解説								
11	臨床作業療法10 ケーススタディ③								
12	臨床作業療法11 ケーススタディ③-A 発表・解説								
13	臨床作業療法12 ケーススタディ③-B 発表・解説								
14	臨床作業療法13 ケーススタディ③-C 発表・解説								
15	まとめ								
	定期筆記試験								

【 準備学習・時間外学習 】

特になし。

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
作業療法臨床実習とケーススタディ	市川和子	医学書院
図解作業療法技術ガイド-根拠と臨床経験いもとづいた効果的な実践のすべて-		文光堂

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

履修規定に準じ、試験の結果を100点満点として60点以上の場合に合格とする